



市長随筆



気候と風土が育てた 「天草ブランド」

先日、知人からマンゴーの贈り物が届きました。早速、その日にいただきましたが、そのおいしさに、さすがは宮崎産完熟マンゴーと感心していました。

一方で、有明町の松崎正司さんが栽培した甘夏を使った缶酎ハイが、全国販売されることになりました。

こちらは、50年以上にわたる栽培に取り組む姿勢と技術に裏付けされた品質が飲料メーカーに評価されたもので、これもまた大変素晴らしいことだと思います。

しかし翌朝、置いてあった箱を見ると、天草産完熟マンゴーのラベルが。地元という思い入れの分を差し引いても、宮崎産に引けをとらない、そのおいしさとできればに本当に驚かされました。

マンゴーと甘夏、歴史の違いはあれ、どちらも天草の温暖な気候と風土が育てたものです。この恵まれた条件を生かし、もっと多くのブランドづくりへと夢が膨らみます。

天草市長 安田 公寛



宝島の健康
よさず屋
すずこ
牧田 鈴子 さん
(御所浦町牧島・84歳)
—— 毎日の楽しみは？

大正琴の演奏や短歌を詠んだり、グラウンドゴルフを楽しんだりして、毎日忙



しく過ごしています。中でも、大正琴は時間を見つけては演奏し、発表会に向けて練習をがんばっています。

—— 健康の秘訣は？

毎日決まったリズムで生活することが大事。運動は、庭の周りを手入れしながら2～3周歩いています。食事栄養のバランスを考えて作っています。

そして、健康な毎日を支えていただく周りの皆さんへ、感謝の気持ちを忘れないことです。



わ かっさい
若っ喝采
ゆうすけ
原田 悠佑 さん (栖本町湯船原・27歳)

今、市青年団・栖本支部では、今年11月に行われる全国青年大会出場に向け、伝統芸能である栖本太鼓踊りの練習に励んでいます。まずは、6月27日にあさぎり町で開かれる「熊本県総合青年祭」に出場し、最優秀賞を取ることです。つらい練習も、みんなと力を合わせ乗り越えていきます。



5月24日に行われた体育祭の成功を喜ぶ全校生徒

かきたてる情熱、高めよ志

倉岳中学校 (倉岳町)
3年 祝原 麻央 (いわいはら まお)

倉岳中学校は、天草一高い倉岳と美しい海に囲まれ、全校生徒83人で“やる気・元気・根気”を合言葉に、楽しく充実した学校生活を送っています。私たちが『倉中の宝』として守り続けているものがあります。1つ目は「朝ボラ」です。毎朝7時40分から15分間、全校生徒であいさつ運動や清掃活動をしています。2つ目は「語先後礼のあいさつ」です。立ち止まり言葉を先に言って礼をするというあいさつを、校内や地域で行っています。3つ目は「自転車並べ」です。ヘルメットを荷紐できちんと留めた自転車が、いつも整然と並べられています。

私たちは、倉中で学べることを誇りに、これからもがんばっていきます。

あいさつ・つばさ・ぼくのわたしの学校生活
わたしのきれいな南小
本年度南小学校(川原町)
6年 橋口 茉歩 (はしぐち まほ)

私たちの学校には、12の委員会があります。まず運営委員会では、全校児童をまとめるために、児童集会での司会や気持ちの良い朝のスタートが切れるように、旗揚げの時にスピーチをしています。また、毎年12月に世界の美しい人々への募金活動を行



旗揚げの時のスピーチのようす



地域に見守られ
心やさしくたくましく
宮野河内保育所(河浦町)
宮野河内保育所(大友寿恵美所長・全園児26人)は、海辺の小さな保育所です。温暖な気候と豊かな自然の中、天気の良い日は、近くの広場や海の見える公園などに出かけ、園外保育を楽しんでいます。また、地域の行事に参加したり、園の行事に招待して、



大好きな園庭の芝生の上で

子どもの自主性をはぐくむ保育

本渡ふたば保育園 (旭町)

本渡ふたば保育園(洲崎豊裕園長・全園児76人)は、モンテッソーリ教育を基本として、子どもの自主性を尊重・重視した保育を目指しています。3・4・5歳児は縦割り保育を実施し、お互いに思いやりやいたわりの心が育っています。天草の島々が見渡せる自然豊かな環境の中であって、広々とした敷地の中に芝生の園庭があり、子どもたちは思いきり走ったりして遊んでいます。また、子育て支援センター「ふたばこども館」を併設し、地域の子育て支援を行い、郷土伝統の継承として、「天草太鼓」の修得にも取り組んでいます。保護者の一日保育士体験を通して、子育てを共有していきたいと願っています。



ラディッシュの収穫。給食でおいしく食べました！